

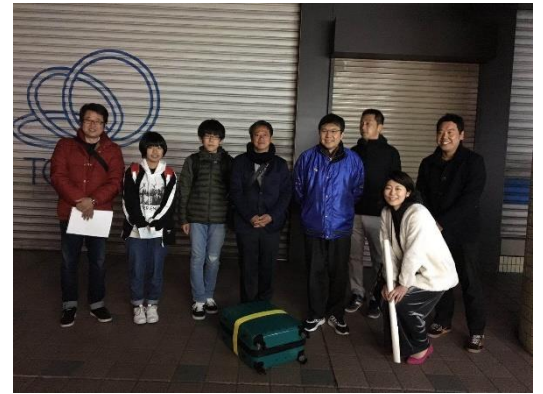
## 派遣期間中の行程(武漢)(Wuhan)

平成30年3月18日(日)～3月25日(日)

大分市立城東中学校2年生

3月18日(日)

希望と不安を抱えながら、別府北浜バス停に集合したのは、朝の5時20分、中には初めての海外旅行の生徒もいて、慣れないスーツケースをひいて集まってきました。中学校の教職員や保護者に見守られ、バスに乗りました。2時間ほどバスに揺られながら、半分睡眠をとりながら福岡国際空港に到着。現地で新たにもう一人の生徒と合流し、出国カウンターでチェックインを済ませました。その際も保護者等に見守られて日本を後にしました。



2時間ほど飛行機に乗り、12時に上海空港に到着。入国審査をするのですが、海外旅行経験も全くなく中国語も英語も話せない私にとっては不安だらけの乗り継ぎでした。チケットを見せながらどちらに行けばいいのか、やっとの思いで搭乗口までたどり着きました。ここで、入国手続きの完了の報告をしました。(11時40分)時差が1時間あるため、なんとなく得をした気持ちでした。

また、2時間近く飛行機に乗り、16時40分に武漢に到着。すると2人分のスーツケースが武漢に届いておらず、事務所のようなところで1時間近く、情報の共有を武漢の先生と話のやり取りをしながら、暗い気持ちで入国を迎えました。しかし、空港では昨年6月にホームステイに来ていた生徒やその家族の方や今回のホストファミリーの方の熱烈な歓迎を受け、生徒も笑顔になり、不安な気持ちが払拭されすごくうれしい気分になりました。生徒はそのままホストファミリーと家庭へ戻って行きました。



3月19日(月)

武漢外国語学校に初めて登校しました。校庭で行われるはずの旗揚式があいにくの雨で会議室に変更になりました。会議室で王校長先生をはじめ6人の先生方から歓迎の言葉をいただきました。日本の生徒3人が通訳を交えながら自己紹介を行いました。私は覚えてたの中国語で自己紹介したことでたくさんの誉め言葉をいただきました。受け入れ学級に入ると靴のままだったり、電子黒板が貼り付けられていたり学習環境の違いがありました。教室の中には、日本語やフランス語やドイツ語を専攻している生徒が混じていました。最初の授業は、李白の代表的な漢詩で「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之を送る」でした。黄鶴楼は武漢随一の名勝地であり、後日見学に行く歴史スポットなのでその学習をすることはとても価値がありました。日本の生徒たちは、時々、ホームステイ先の生徒が日本語に訳してくれたのを聞きながら、一生懸命先生の話聞いていました。



その後、網ひもの学習と実技をしました。編むのに相当な時間がかかりましたが、出来上がった作品はとてもきれいでした。その後、中1の生徒との対面、武漢外国語学校の先生との写真撮影、食事会がありました。食事会では、中国料理が並べられ、フルーツやケーキもあり楽しくいただきました。午後からは、日本語クラスの生徒とゲームや簡単な中国語の会話等をしました。その後は体育活動をするはずが、雨天のため教室で自習となりました。1日目の交流を終えて生徒はホストファミリーのもとへ。



3月20日(火)

この日は観光日で、1・2年の日本語クラスの生徒6人とともに黄鶴楼、帰元寺の見学をしました。黄鶴楼はとても大きく、歴史スポットとあって平日でありながらたくさんの観光客が来ていました。また、帰元寺では、表情が豊かで同じ顔の像は一つもなく、数を数えて仏像を見る方法や拝み方の作法や入るとき足の順番等を日本語クラスの生徒に教わりました。その後、アジアで一番大きいというイオンモールに行きました。建物の中には、食料品店や衣服、飲食店等があり、買い物をするときは、「袋をください」と言わないともらえないことなどを教わりました。館内が広く、歩き回ったのでとても疲れている様子でした。



3月21日(水)

この日は、国語と数学の授業を受けました。国語は、中国語のわからない生徒にとっては理解できず、数学は日本では3年生で学習する内容だったので、大変でした。この学校では、月・水・金曜の10時30分から全校生徒で広間に集まって、ラジオ体操をします。頭が疲れ切っているときなので、気分転換に最適だと思いました。その後、中国のお菓子で、もち米とあんこでつくる団子づくりに参加しました。普段慣れていないせいか、あんこを包むのに苦労していましたが楽しそうでした。また、この日は中国のテレビ局の方の取材を受けることになり、日本の生徒3人がテレビ局の人にインタビューされました。恥ずかしがりながらもきちんと対応できる姿に感心しました。



また、その後、筆を使って水墨画のようなものを作成しました。今年は、戊年だったので、犬の絵を墨の濃淡を使って書きました。さすがに、うまく書くことは難しいですが、中国の伝統を学べてよかったです。

また、ロボットを動かす体験活動があり、機械を使ってブロックを積み上げ、所定のところまで持って行って降ろす体験活動もさせていただきました。



この日は、夜学習があり、夕食後、8時くらいまで授業がありました。中国語の言葉でやり取りをしたり、日本の歌を歌ったりして楽しく交流しました。中国の生徒とゆっくり過ごす時間が限られていたせいか、時間が来ても名残惜しそうにしていました。



3月22日 (木)

この日は観光日で東湖を見学しました。広々した湖面には漁船は頻繁に行き来し、九十九湾といわれるほど入り江が多く、船に乗って湖を10分くらい周ってもらいました。スピードが速かったので、風が強く、少し肌寒かったけれど、湖の広さにはびっくりしました。その後、武漢博物館へ行きました。時代ごとの展示コーナーに分かれていて、とても興味深かったです。1階には土産ショップがあり、歴史的なものがありましたが、高価なものが多かったです。



昼食は、中国料理のお店でした。必ず、食器はビニールのようなもののでくるまれており、食事をする前に必ず熱いお湯できれいに洗ってから使いました。飲み物は、冷たい水はなく、温かいお茶のようなものがありました。料理自体は辛く食べにくい人もいました。

午後は、漢街(はんがい)という大きなショッピング街に行きました。そこはヨーロッパ風の街並みをイメージした商店街となっており、中国の先生からは、若者に人気があるということを聞きました。海外のお店も多かったです。



3月23日(金)

この日は体験入学最後の日です。午前中は、朝自習の後、学校を離れて、湖沿いの場所で中国武術の一派である太極拳の授業を行いました。白い演技の服を着せてもらい、指導者の方から、手の上げ方や足の運び方等、丁寧に指導してもらい、音楽に合わせて踊りました。その後、音楽の授業に参加しました。最初は中国の生徒が取り組んでいる二胡、琵琶、ピアノ等の課題発表を鑑賞しました。音色がとても優しく、心にしみるひと時でした。



午後はお別れ会です。迎賓館のような大広間で、ホストファミリーの家族や外国語学校の関係者合わせて130人が集まりました。司会は3年生の2人が役をこなしました。王校長先生の話の後、引率教師のお礼の言葉や城東中の代表2人が感想発表をし、3年生のダンス等の出し物、1・2年生の合唱やダンス、最後は城東中の生徒も含めて生徒全員で歌を歌いました。



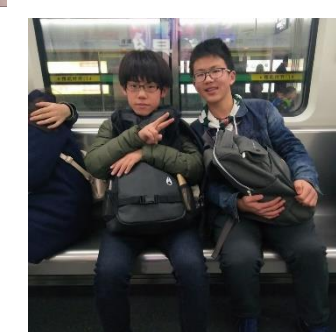
夕方からホームステイの生徒たちが1つの家に集まり、餃子パーティーをしました。自分たちで餃子の餡を皮に包み、みんなでワイワイ言いながら食べました。みんなとゆっくり話せるのが最後なので、早々に切り上げて2階に上がり、話をしました。



3月24日(土)

今日は、ホストファミリーと過ごせる最後の日です。それぞれの家庭が最後の1日をいろいろな思いで過ごしました。予定では、夕方、引率教師の泊まっているホテルに戻る予定でしたが、ホストファミリーの要望でもう1日一緒に夜を過ごすことになりました。

【それぞれの家庭での様子】



3月25日(日)

武漢空港に9時に集合し、ホストファミリーの方や武漢外国語学校の先生方とお別れをして、10時20分に出発し、上海空港で乗り換えました。空き時間を使ってお土産を買い、上海空港を出発しました。福岡空港に到着し、ジャンボタクシーに乗り換え大分へ向かいました。夜遅く大分市に戻ってきたので、生徒たちは眠さと8日間の疲れが出ていましたが、城東中の教職員と保護者が迎えてくれていてとてもうれしかったです。

